



# めぐみのなかま

めぐみ幼稚園に通園してる親子の声、お届けします♪



カンバーランド長老キリスト教会希望が丘教会附属  
めぐみ幼稚園  
〒241-0825 横浜市旭区中希望が丘72-2

第1号 R6. 5月発行

## めぐみ幼稚園って どんなところ？

キリスト教保育の幼稚園です。規模が小さいので、「幼稚園」ではなく、「幼児園」と表記されますが、中身は幼稚園と変わりありません。詳しくはホームページなどを見て頂くとして、ここでは、めぐみ幼稚園に入れて良かったなあと感じるめぐみの魅力をお伝えします♡

先日、年長になった娘が食事の前に「お祈りをしてあげるね!」と言ってくれました。

「おいしく食べられますように。お父さんが無事に帰ってきますように」めぐみでは、日々先生方が、お休みのこども達のことや、それぞれの家庭のこともお祈りしてくれています。その場にはいない人たちのことも思う心が育っているんだなあ、改めてお祈りの時間が子どもたちに優しい気持ちの根付かせてくれてるんだなあと感じました。



## 自由遊び

子どもたちがのびのび遊ぶ自由遊びの時間。今、我が家の子ども達は、先生と一緒に虫探しをすることに夢中です。

この時期、様々な草花も咲いていて探索するのが楽しいのでしょうね。私も子どもの頃はトンボを捕まえたり、今では信じられないけれどトカゲを飼ったりしたことを思い出しました。

そんな風に誰もが子ども時代に子どもらしい遊びを経験して大人になっていくんだなあ気づきました。

子どもたちが夢中になれることに付き合ってくれ、温かく見守ってくれている先生方に感謝です。



## 入園、進級

今年度は2名の新入園児さんを迎えて始まりました。新入園児とは思えないほどすぐにめぐみに馴染んだ年少さん。最年長になった娘は、ちょっぴりお姉さんの自覚が出てきたようで、お片付け、張り切ってます(笑)

でも、幼児園から帰ればまだまだ甘えたい時期。「こどもたちの今を大切にしてください」というめぐみ会(月1回の親と先生が聖書と共に子育てを分かち合う時間です)での先生の言葉を時々思い出します。

## 健康の日(食のカリキュラム)

めぐみ幼稚園には、月に一回、丸森歯科医院の先生方と、管理栄養士さんが来て下さり、歯の事、食の事をこどもたちにわかりやすく楽しく教えてくださる時間があります! 毎年、お魚さばきも親に教えてくれて、子どもたちの前でさばいて焼いたり、旬のお野菜を食べて、いろんな味を経験する時間になっています。

バランスよく食べる、といってもこどものうちはなかなかわからないですよね。げんき号といって、ちから、ちょうし、からだ、と大まかにわけて、何を食べると元気な体を作っていくのか、わかりやすく教えてくれています^^



今年度初めての健康の日は、「春キャベツをたべよう!」でした。

旬の春キャベツのやわらかさや甘さを子どもたちが目で見て、触ってみて、味わってみる。そんな体験ができました。生が一番甘みを感じておいしいですが、しっかり噛んで唾液と混ぜることで甘みを感じられます。噛む力に個人差のある幼児期は、塩ゆでで甘みを感じやすくするのがおすすめだと管理栄養士さんから話があり、親としても勉強になりました。

## めぐみの子は大好き

### 小松菜ジャコメッティ♡

健康の日で教わった小松菜ジャコメッティレシピ。小松菜をじゃこと一緒に炒めて、お出汁とみりん、しょうゆで味付け。シンプルな味付けで子ども達もパクパク食べてくれます♪ぜひ、お試しください(^^)





### バザーでゆずり合い



めぐみ幼稚園では、教会のお部屋を借りて保護者が有志でリサイクルバザーを定期的開催。(年3回程度)  
 子供服はサイズアウトするのがあつという間。子供服をゆずりあって活用できるのは、親にとってはとても助かるし、子どももいろんな服が着られて喜んでます♪入園児の保護者だけでなく、地域の方どなたでも覗きにきてくださいね！

### 新たな取り組み モンテッソーリの時間&英語あそび

今年度から、モンテッソーリ幼児教室の先生を招いて、モンテッソーリの時間が始まりました。横浜市旭区の幼稚園では初の取り組みのようです。  
 モンテッソーリの手を使った遊びに子どもたちも集中して楽しんでいます。絵具で汚れて帰ってきて、たくさんのびのび遊べたんだなあと、洗濯も苦ではない?(笑)めぐみは、もともと泥んこで遊ぶので、絵具くらいじゃ驚かないですが(笑)  
 英語あそびの時間も、ただ英語に親しむのではなく、身体も使って五感で英語を楽しむ!明るく元気な先生がいつも子どもたちを楽しませてくれます♡



### お茶の日



めぐみには、月に1回お茶の先生を招いて、お茶の日という時間があります。作法を学んだり、相手を思いやる言葉を覚えてきたりしています♪  
 (ママのお茶サークルもありますよ!)

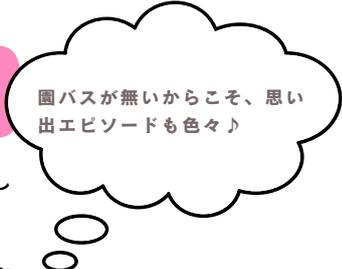


### 一人一人の個性に寄り添う園

2歳の時に脳の病気にかかり、知的障害が残った娘。幼稚園選びをとっても悩んでいましたが、「めぐみ幼稚園は創立当初からハンディをもつ子どもの教育に力を入れてきたから絶対大丈夫!」という卒園児の保護者の声、入園説明会での園長先生の温かい言葉で入園を決めました。  
 めぐみは、ハンディをもつ子どももそうでない子どもも朝から降園まで、毎日ずっと一緒に過ごします。その中で自然とあるがままのお互いを受け入れ、助け合うことができるようになります。今小学生になった娘は、めぐみのお友達にもらって嬉しかったことを、今度は周りのお友達にもしてあげられるようになっています。卒園後も、ガールスカウトや教会学校に所属し、変わらず共に歩める生活を存分に楽しんでいます。

### 登園時の思い出♪

先日、雨の中幼稚園まで歩いて向かいました。  
 結構強い雨で、年長の娘も傘を必死で持ち、しっかり歩いていました。そして突然、「お母さん、帰り雨気をつけて帰ってね」と。子どもから私の帰り道を心配されるなんて思ってもいなかったので、びっくりしたと同時に、人を思いやる気持ちは、大人、子ども関係なく、持っているものだなあと優しい気持ちになりました。登園時の思い出になりました。



園バスが無いからこそ、思い出エピソードも色々♪



卒園児のママです(^^^\*)  
 長男と0歳児の娘を台風のような雨の降園時、レインカバーが外れそうになるくらいの風が吹いている中長男が「お母さん、葉っぱさんがフレイフレイって応援してるね」と言ってくれました。その頃、運動会の練習をしていて旗振り思い出したようで、荒んでいた母の心を慰めてくれたのでした!

### [編集後記]

幼稚園に入園すると、子育てが少し楽になる、そんなイメージがありました。めぐみに入って、子育てを共に楽しむ、共有できる人が増える、というイメージに変わりました。先生方や他のママさん達と送り迎えの時にいろんな話ができて、子育てしてる今って楽しいんだなあと感じられています。そんなめぐみ子育てライフを少しでも多くの方に知って頂けたらと思います。ママ・パパ通信「めぐみのなかま」を始めます♪